

スクロール劇場 I.

聖ヨハネ黙示録

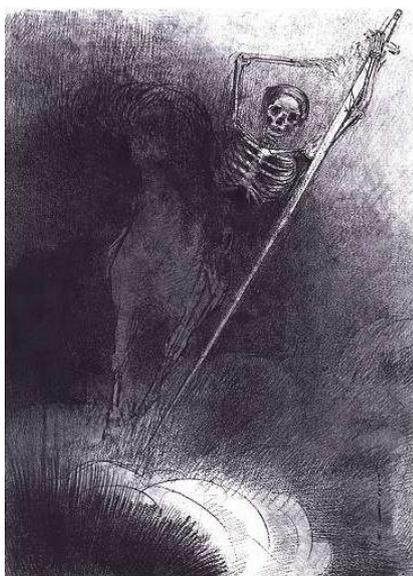
オディロン・ルドン



- ① ある日、ヨハネはラツパのように大きな声で呼びかけられました。声の方を振り向くと、頭と髪の毛が雪のように真白で、目は燃える炎のような者がいます。右の手に七つの星を持ち、口からは鋭い両刃の剣が突き出ています。
- 「恐れるな。わたしは初めてあり、終わりであり、また、生きている者である。あなたの見たことを書き留めなさい」



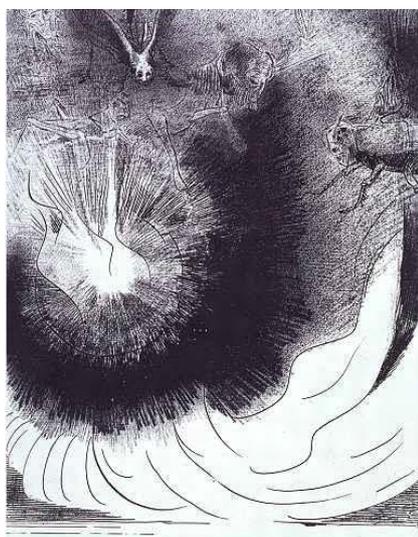
- ② 命じられてヨハネは、7つの教会にキリスト教の信者を励ます手紙を出します。
- その後、その声に従って天に上ったヨハネは、虹の中に座っている、宝石のような存在を目にします。右手には字の書かれた巻物があり、七つの封印で閉じられています。周りには、ライオンや牡牛や人や鷲のような生き物がひかえていました。



- ③ 7つの角と7つの目を持った、いけにえの小羊が、巻物の7つの封印を次々に解いていきます。その度に、白い馬、赤い馬、黒い馬が現れますが、4番目の馬は青白く、それに乗っている者は「死」という名前でした。



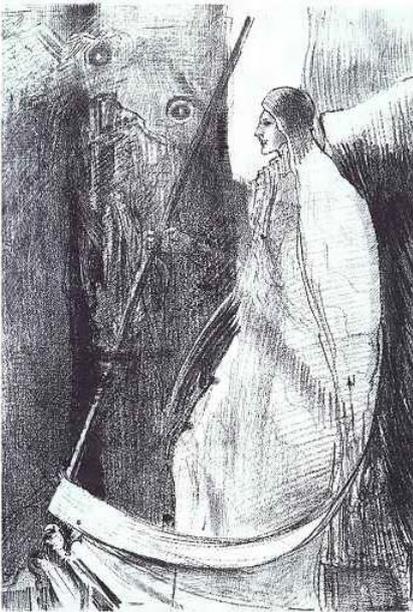
- ④ 小羊が第7の封印を解いたとき、長い静けさが訪れ、7人の天使が現れます。別のもう一人の天使が金の香炉を持って祭壇の前に立ち、その火を点けると、突然、地に投げつけました。すると、恐ろしい雷鳴と地震が起こりました。



- ⑤ それから、7人の天使たちが、順番にラッパを吹き鳴らしていきます。第3の天使が鳴らした後、たいまつのように燃えている大きな星が空から落ちてきました。「苦よもぎ」というこの星のせいで、地の水が苦くなり、多くの人々が死んでしまいます。



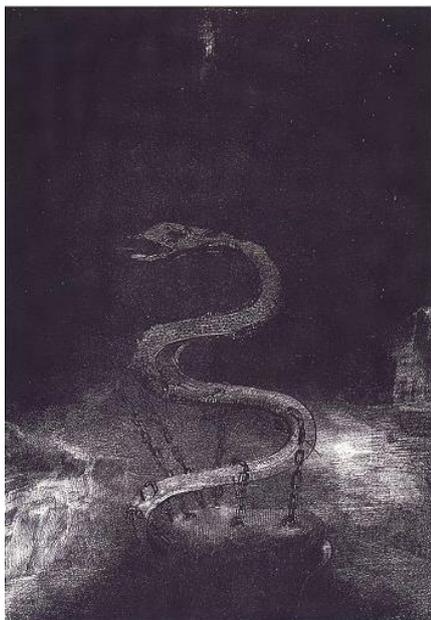
- ⑥ 3つの災いと呼ばれる天変地異が次々と起こる中、一人の女性が現れます。太陽を着て、足の下に月を踏み、12の星の冠をかぶっています。女は男子を生みますが、のちにすべての国民を治めるべき方でした。大きな赤い龍がこの子を食べようとしませんが、ミカエルや天使たちが戦いを挑み、みごとに撃退します。



- ⑦ 火を支配する天使が、鋭い鎌を持つ天使に言って、地のぶどうを刈り集めさせました。神の激しい怒りの大きな酒ぶねから、血（ワイン）が流れ出て、地に広がりました。



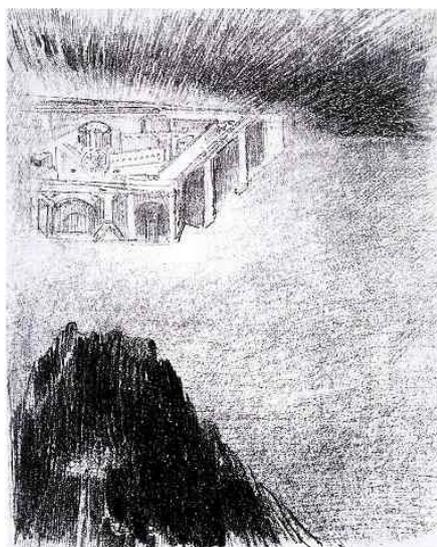
- ⑧ 天と地との闘争の中、一人の天使が、底知れぬほど深いところの鍵と、大きな鎖とを手を持って、天から降りてきました。



- ⑨ その天使は、悪魔でありサタンである龍を捕らえて底知れぬところに投げ込み、入り口を閉じて封印し、千年が経つまで諸国民を惑わすことのないようにしました。



- ⑩ しかし、千年後には再びサタンは解放されて復活し、悪の陣営を築きます。
すると天から火が下ってきて、彼らを焼き尽くしました。サタンは、火と硫黄との池に投げ込まれます。そこには、獣やニセ預言者もいて、永遠に苦しめられるのでした。



- ⑪ 戦いは終わりました。
天使の一人が、ヨハネを高い山に連れていきます。聖都エルサレムが、神のみもとを出て、天から下ってくるのが見えていました。



⑫ 最初に登場したラッパのように大きな声の者は、最後に正体を明かします。

「わたしイエスは、使いをつかわして、諸教会のためにこれらのことをあなたがたにあかしした」
これらのことを見聞きしたヨハネは、黙示録という名でこれを書き残したのです。

なんとも奇想天外な物語ですが、実はれっきとした聖書の一部です。一世紀の末に、当時迫害を受けていたキリスト教の信者を励ますために書かれたと言われています。

スクロール劇場の楽しみ方

ただの PDF ですが、スライドショーのようにご覧ください。

- ① パソコンやスマートフォンの画面を調整して、その横幅を添付の PDF の横幅とほぼ合わせる。
※スマートフォンは横長にした方が、次の展開を楽しめます。
- ②あとはご自分の指先のペースで動かしてご覧ください。